

取扱説明書

No Load 波形確認 ATT
00-00007A

株式会社 ノイズ研究所
第 1.01 版
AEJ00375-001-0B

目次

1. 重要安全事項	1
2. まえがき	1
3. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項	1
4. 構成	2
5. 使用方法	2
6. 性能	4
7. 保証	5
8. 保守・保全	6
9. 故障したときの連絡先	6
10. 取扱説明書購入申込書	7

1. 重要安全事項

本器は、パルスを観測するために開発されたアッテネータです。本器をご使用になる場合はパルス試験器が近くにあると考えられます。それらパルス試験器の『重要安全事項』および『本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項』をよくお読みになってからご使用ください。

2. まえがき

このたびは広帯域の No Load 波形確認 ATT 00-00007A をお買上げいただき、誠にありがとうございます。本器をお使いになる前に本書をよく読んでいただき、充分ご活用くださるようお願い申し上げます。

- この取扱説明書は、操作方法と注意事項を遵守できる方々が、No Load 波形確認 ATT を安全に取り扱い、かつ充分にご活用頂けるように書かれています。
- この取扱説明書は、No Load 波形確認 ATT を取り扱う時いつでも取り出せる所に置いてください。
- 本器は、立ち上がり時間の速いパルス、ISO 7637-2 テストパルス 3a,3b 等の出力波形を観測するための減衰器です。

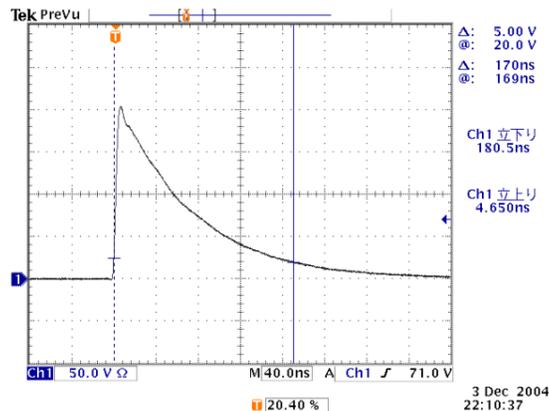
§ 特徴

1. パルス電圧を 100:1 に減衰させます。
2. パルス耐電圧は 1kV です。
3. DC~500MHz という広帯域のアッテネータです。
4. 入力抵抗 2475Ω、入力容量が 2.0pF 以下なので高周波領域で高いインピーダンスを維持します。測定時の負荷降下が起こりにくく、また従来のプローブ測定の問題点として、入力容量とグランドリードに起因する共振現象(リングング)が大幅に改善されます。

3. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項

基本的な安全注意事項

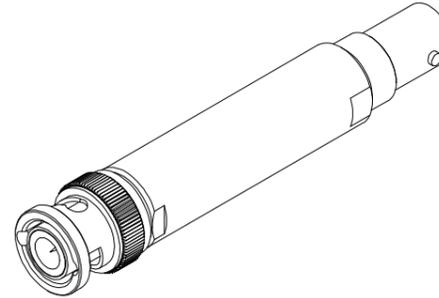
1. 誤った操作や不注意な操作をおこなうと致命傷になります。
【人体、操作、環境、及び接続に関する注意事項】
2. 本器をパルス試験器に接続する場合は、試験器のパルス出力を停止しておこなってください。発生しているパルス電圧で感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】
3. 同軸コネクタは十分に差し込んで時計方向に「カチッ」と音がするまで廻して確実に接続してください。【人体、及び接続に関する注意事項】
4. 当社および当社と関係する販売代理店は、本器の無責任な操作による人身事故や器物の破損、或はそれらの結果、更に発生する如何なる損害に対しても一切責任を負いません。【人体、操作、環境、及び接続に関する注意事項】



P3b 波形

5. 本器の使用できる許容範囲を超えると本器の特性の劣化や破壊だけでなく、電圧パルスで感電します。【人体、及び接続に関する注意事項】
6. 本器の減衰比は 100:1 オシロスコープ等の測定器の許容入力電圧にご注意ください。許容値を越えた際には、No Load 波形確認 ATT とオシロスコープ等との間に 50Ω アッテネータを更に挿入してください。【操作に関する注意事項】

4. 構成



No Load 波形確認 ATT1 個

5. 使用方法

詳しくは ISS-7600 または ISS-7630 の取扱説明書 始業前点検(波形の検証)を参照願います。

1. 試験器の準備

- 試験器としまして ISS-7630 を例に挙げます。同様に ISS-7690(P3a,P3b 波形)にも使用可能です。
- オシロスコープ等の測定器の AC ケーブルは PE なしの 2P のケーブルをご使用ください。
- ISO 7637-2 の規格に準拠した波形確認を行うには、試験器の“DC 入力端子”の「+」と「-」を ISS-7630 の添付品の波形検証用ショートリードで必ずショートします。
- 試験器の“ブレーカ”のレバーを必ず ON(上)にします。
- 試験器の“出力端子(HOT,GND)”へ ISS-7630 の添付品の“BNC 変換アダプタ”を差し込みます。“HOT”と“GND”を間違えてないことを確認します。

2. 試験器と No Load 波形確認 ATT との接続

- No Load 波形確認 ATT を“BNC 変換アダプタ”へ接続します。減衰比は 100:1 となります。

注意

- コネクタの着脱時はパルスが発生していないことを確認して実施してください。

3. 測定器と No Load 波形確認 ATT との接続

- No Load 波形確認 ATT に ISS-7630 の添付品の BNC 付 50Ω 同軸ケーブルを接続します。BNC 付 50Ω 同軸ケーブルのもう片方をオシロスコープ等の測定器へ接続します。

4. 測定器の設定

- オシロスコープ等の測定器で内部 50Ω 終端します。同軸ケーブルの特性インピーダンスが 50Ω 系なので 50Ω で無反射終端する必要があります。
- ISS-7630 のパルス出力電圧 U_s を 350V に設定しますと、測定器の 50Ω 終端には 3.5V の電圧となります。

注意

- 測定器の許容入力電圧にご注意ください。許容値を越えた際には、No Load 波形確認 ATT とオシロスコープ等との間に 50Ω アッテネータを更に挿入してください。
- 測定器の入カインピーダンスは 50Ω ですか？ 本器は出力インピーダンス 50Ω です。従いまして、測定器の入カインピーダンスも 50Ω にしてご使用ください。高入力インピーダンス (例: 1MΩ) の場合は測定器の入力部に 50Ω の無反射終端器を挿入してください。

